



広域広報

本 荘 由 利

平成24年 6 月

本荘由利広域市町村圏組合

〒015-0871 秋田県由利本荘市尾崎17番地

TEL 0184-23-2019

FAX 0184-23-4022



(仁賀保高原)

第5期介護保険事業計画を策定しました

介護保険制度が平成12年4月に始まって以来、本荘由利広域市町村圏組合では介護保険の運営主体である保険者として事業を行ってきました。現在は由利本荘市、にかほ市の2市の保険者事務を共同処理しながら、圏域の介護保険事業の適正な運営に努めています。

平成24年度から平成26年度までを計画期間とする本計画は、介護保険サービスの利用の見込み、サービス提供の確保の方策など介護保険事業を運営していく上で必要となる事項を定めたものです。

計画書は組合ホームページからダウンロードできるほか、介護保険担当窓口でも閲覧できます。

(計画の概要は次頁をご覧ください)

65歳以上の方へ



介護保険料決定通知書を7月に郵送します。保険料は本人や世帯の所得状況によって決まりますので、ご確認ください。

本荘由利圏域の人口・世帯数・面積

平成24年5月末現在

市 名	人 口	世 帯 数	面 積
由利本荘市	84,568人	30,296世帯	1,209km ²
にかほ市	27,541人	9,559世帯	240km ²
合 計	112,109人	39,855世帯	1,449km ²

■計画の策定にあたって

計画の策定には高齢者（65歳以上の方）の現状把握が不可欠であることから、昨年5月に行った日常生活圏域ニーズ調査等により、日常生活圏域の課題の把握に努めました。

また、介護保険事業計画策定委員会を設置、さまざまな見地から意見を広く聴取し、さらには計画策定内容等のパブリックコメントにより圏民に広く意見を募集するとともに周知を図りながら計画を策定してきました。

■介護サービス利用者の見込み

介護サービス利用者の増加に伴い、それに係る費用も急速に増大してきました。さらに、平成27年にはいわゆる団塊の世代が高齢者となるなど高齢化の一層の進展が見込まれます。

由利本荘市、にかほ市を合わせた圏域の高齢者割合は、平成26年には31.4%に達する見込みとなっています。また、要支援・要介護認定者数は年々増加傾向にあり、平成26年には平成23年よりも500人増え、6,942人に達する見込みです。このうち約8割である5,590人が介護サービスを利用すると見込んでいます。

■介護サービス基盤の整備

サービス利用の現状と今後の見込みを踏まえ、圏域のサービス供給体制、サービス拠点の整備を計画しました。

🔧 施設サービス

高齢者の増加に伴い、重度の要介護認定者も増加してきていることから、平成24年度に20床、平成26年度に100床の新たなサービス拠点の整備を予定しています。

🔧 地域密着型サービス

定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、複合型サービスの整備のほか、由利本荘市では認知症対応型共同生活介護、にかほ市では地域密着型介護老人福祉施設の整備を予定しています。

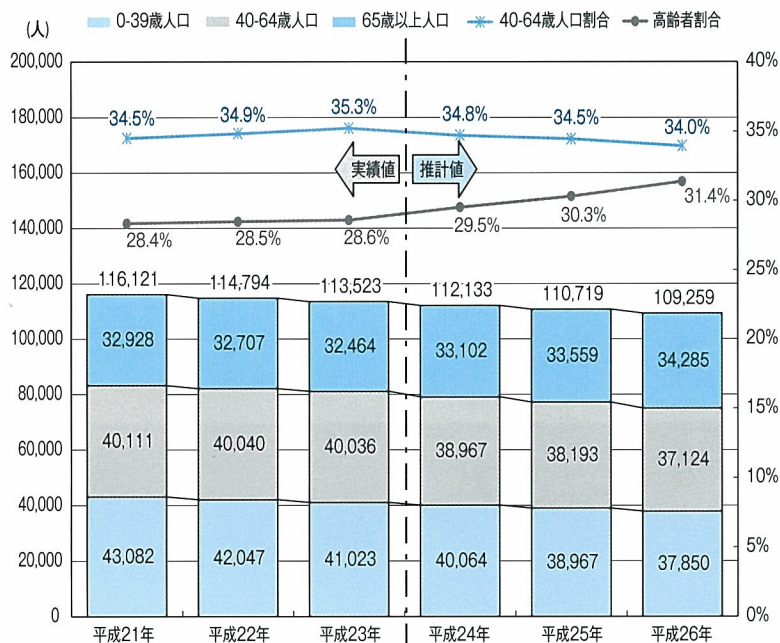
■介護保険料が変わります

圏域の介護サービスにかかる費用負担に応じて、65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料が決まります。

要介護認定者等の増加により、介護サービスに係る費用の増加が見込まれることから、保険料を改定しました。第5期計画においては低所得者の負担軽減を図り、保険料段階を8段階から9段階に設定し、各段階の負担割合を調整した結果、保険料基準月額はいくまでの4,170円から990円増の5,160円となりました。

介護保険はサービスを1割の負担で利用できる「みんなで支え合う制度」ですので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

●人口と高齢化率の推計



●要支援・要介護別認定者数の推計

区 分	平成21年 2009年	平成22年 2010年	平成23年 2011年	第5期計画期間		
	平成24年 2012年	平成25年 2013年	平成26年 2014年			
要支援	989人	1,117人	1,134人	1,160人	1,167人	1,168人
要介護	5,131人	5,167人	5,308人	5,507人	5,645人	5,774人
計	6,120人	6,284人	6,442人	6,667人	6,812人	6,942人

※平成23年までは実績値

各年9月末現在



基準額
(月額)

圏域の介護サービス総費用のうち
第1号被保険者負担分
第1号被保険者数
÷12ヶ月
= **5,160円**

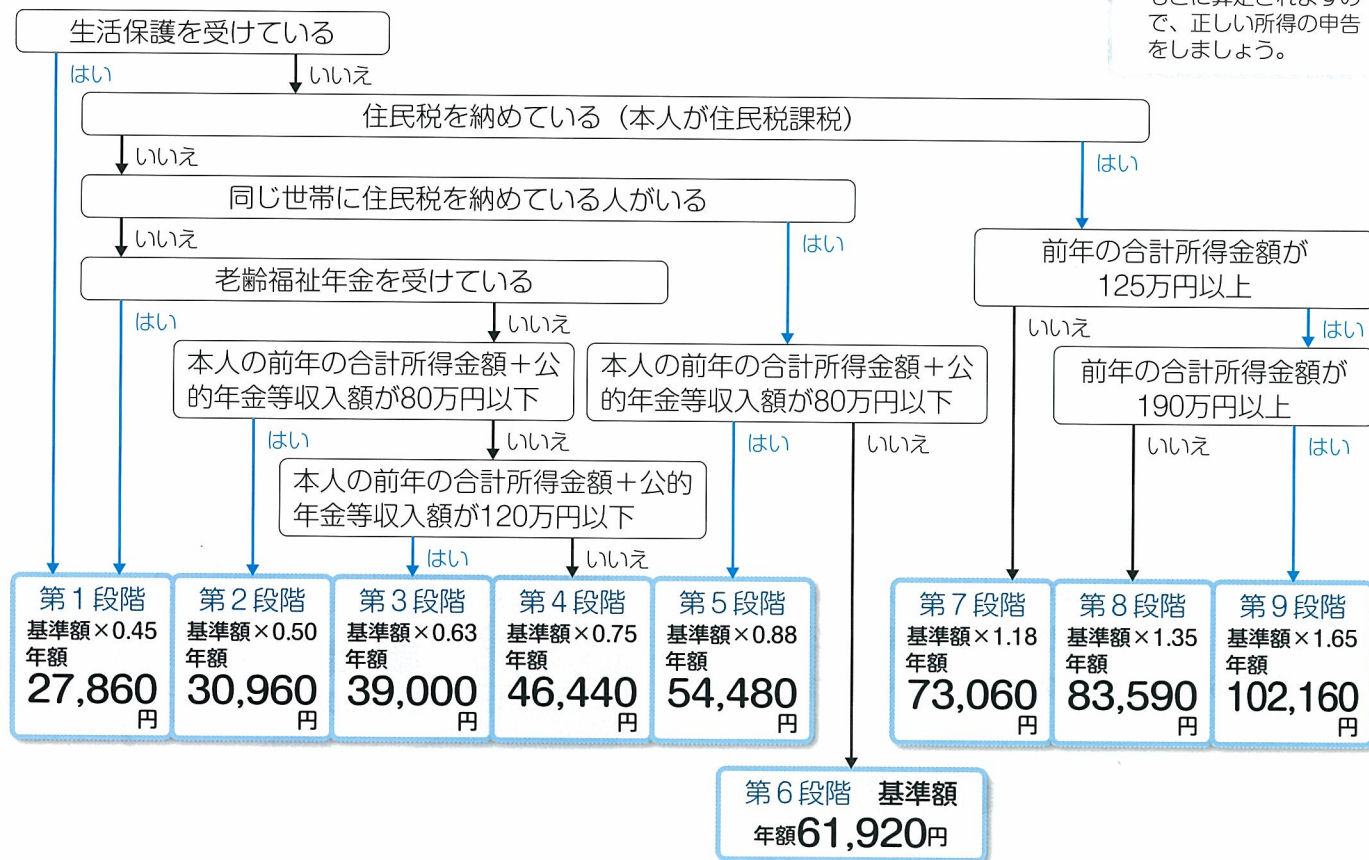
本荘由利広域市町村圏組合の基準額は、
年額61,920円、月額5,160円です。

～保険料は所得に応じて決まります～

65歳以上の方の介護保険料は、介護保険事業計画で算出された基準額をもとに、所得段階別の保険料が決められます。

●あなたの介護保険料は？

※保険料は前年の所得をもとに算定されますので、正しい所得の申告をしましょう。



●保険料の納め方は2種類に分かれます

老齢（退職）年金・遺族年金・障害年金の受給額が

年額18万円（月額15,000円）以上の方
特別徴収
年金の定期支払い（年6回）の際、年金から保険料があらかじめ天引きされます。

年額18万円（月額15,000円）未満の方
普通徴収
お送りする納付書や口座振替で、期日までに金融機関を通じて保険料を納めます。

●年度途中で65歳になる方は

65歳になる月分（誕生日が1日の方はその前月分）から介護保険料をご負担いただきます。特別徴収に切り替わるまでは、一時的に納付書で納めます。

●40歳以上65歳未満の人（第2号被保険者）の保険料

40歳以上65歳未満の人の保険料は、加入している医療保険の算定方法により決定され、医療保険料とまとめて納めます。



●保険料の納付が困難なときは

災害や失業など、やむを得ない理由で保険料を納めることが難しくなったときは、保険料の減免や納付猶予が受けられることがあります。困ったときは、お早めに担当窓口までご相談ください。

問い合わせ先

本荘由利広域市町村圏組合 介護保険課

電話番号 0184-24-3347 ホームページアドレス <http://www.chokai.ne.jp/honyuko/>

（要介護認定の申請受付や、各種申請の受付は由利本荘市、にかほ市の各介護保険担当窓口まで）

平成24年度当初予算

広域圏組合の予算は、一般会計と2つの特別会計からなっています。

一般会計

平成24年度の一般会計当初予算は11億5,900万円で、歳入は、組合を構成している2市からの事業別の分担金及び負担金10億7,505万9千円が主な収入となっています。

歳出では、組合全般の管理事務などを行うための総務費1億9,634万9千円、養護老人ホーム寿荘の管理運営などに充てられる民生費2億1,815万5千円、し尿処理などに充てられる衛生費4億4,794万7千円、地方債の償還に係わる公債費2億9,526万7千円が主なものとなっています。

特別会計予算の内訳

▼介護保険特別会計 107億6,096万1千円

・歳入

保険料 18億8,353万円 (17.5%)	国庫支出金 27億650万9千円 (25.2%)	支払基金交付金 30億5,234万6千円 (28.4%)
分担金及び負担金 14億3,179万8千円 (13.3%)	県支出金 16億5,206万4千円 (15.3%)	その他 3,471万4千円 (0.3%)

・歳出

保険給付費 104億9,588万7千円 (97.5%)
地域支援事業費 1億6,338万5千円 (1.5%)
総務費 9,285万9千円 (0.9%)
その他 883万円 (0.1%)

▼特別養護老人ホーム特別会計 4億8,166万3千円

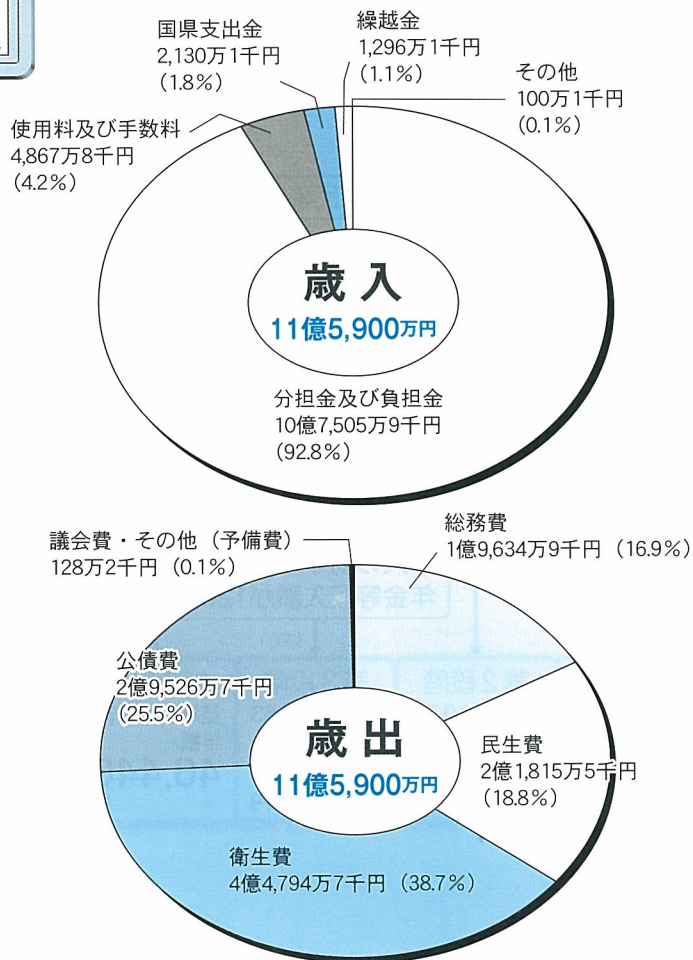
・歳入

サービス収入 4億7,861万3千円 (99.4%)
その他 305万円 (0.6%)

・歳出

公債費 6,116万3千円 (12.7%)
総務費 3億2,440万1千円 (67.4%)
サービス事業費 5,394万7千円 (11.2%)
基金積立金 4,115万2千円 (8.5%)
その他 100万円 (0.2%)

一般会計予算の内訳



特別会計

介護保険特別会計

介護保険給付費などを支払う特別会計です。歳入のうち保険料は第1号被保険者（65歳以上）の保険料で、支払基金交付金は第2号被保険者（40歳以上65歳未満）の保険料分であり、介護保険を運営するための大切な財源となっています。

特別養護老人ホーム特別会計

特別養護老人ホーム広洋苑の会計は、独立採算による特別会計です。

歳入は、ほとんどが施設利用者の介護によるサービス利用料で、歳出は、利用者の食事代や施設の維持費、介護職員の給与などとなっています。